

2023年5月9日

<u>ダイエー「ボトル to ボトル プロジェクト」への</u> 参画について

ダイエーは、2023年5月12日より、イオンの「ボトル to ボトル プロジェクト」へ参画しますので、お知らせします。

「ボトル to ボトル プロジェクト」は、お客さまから店舗にお持ちいただいたペットボトルを、クローズドリサイクル(※1)で再商品化して、資源循環体制の構築を目指す取り組みです。イオンは、脱炭素型・資源循環型社会の実現に向けて、使い捨てプラスチックの使用量を2030年までに2018年比で半減する目標を掲げています。本プロジェクトは、その目標達成に向けた取り組みの柱として、ペットボトルの回収、再商品化を一貫して行い、安定的かつ持続的な資源循環体制を目指しています。回収したペットボトルは再生PET樹脂となり、これを原材料に使用したペットボトル飲料を、イオントップバリュ(株)が商品化し、当社を含めたイオングループ各店舗で販売する予定です。

ダイエーは、環境負荷の低減を目的に、さまざまな環境保全活動に取り組んでいます。その一環として、1992年より店頭でのペットボトルの回収を開始し、多くのお客さまのご協力により、リサイクルの推進を拡大してまいりました。今回、当社では5月12日より近畿エリアの29店舗にて、同プロジェクトに参画し、今後も実施店舗を拡大していく予定です。

当社は、これからも循環型社会の構築を目指し、お客さまとともに積極的な環境保全活動に取り組んでまいります。

記

<ダイエー29店舗における「ボトル to ボトル プロジェクト」スキーム>



- ◇回収、収集運搬を大本紙料㈱と丸紅 フォレストリンクス㈱が、その後の 再生原料化、プリフォーム^(※2)の製 造・供給までを丸紅プラックス㈱が 構築・運営。
- ◇店舗で回収したペットボトルはクロ ーズドリサイクルで再生PET樹脂 となりトップバリュ㈱が商品化。
- ※1 クローズドリサイクル:イオンが店頭で回収したペットボトルをリサイクル樹脂に 再生原料化し、イオンの商品の原料として利用すること。
- ※2 プリフォーム:ペットボトルの原型。

以上